

新年度予算

一般会計予算 過去2番目の規模

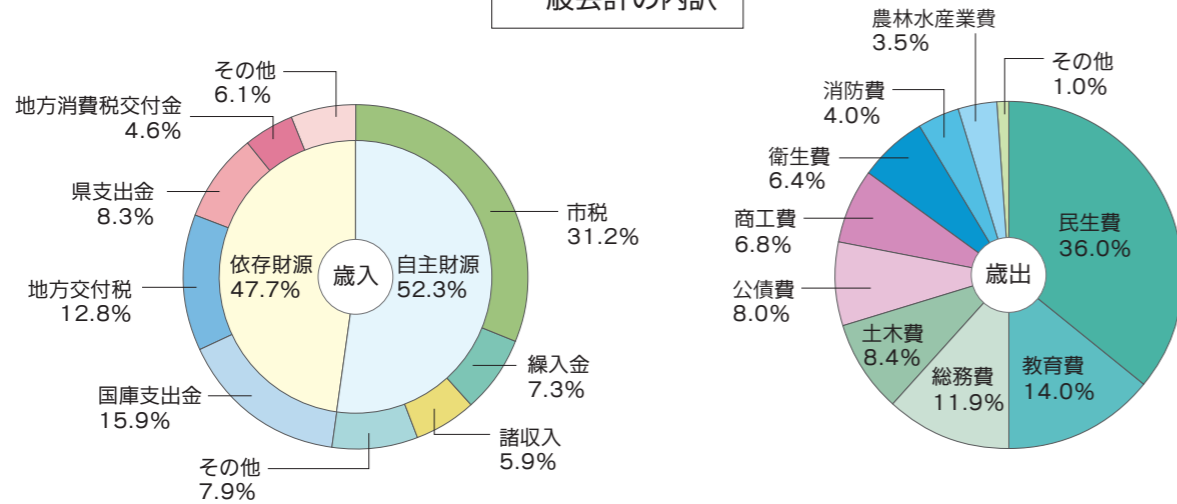
対前年比1.6%減の235億円

予算決算常任委員会

◎小堀 勇人 ○大河原 千晶
他議員全員

予算決算常任委員会は、3月10日～12日の3日間にわたり、全委員出席のもと開催されました。一般会計、特別会計、企業会計予算について慎重に審査を行い、全委員賛成のもと原案のとおり可決すべきものと決しました。

一般会計の内訳



令和8年度予算 議会注目事業

議会が注目した注目事業をご紹介します。

小学校施設長寿命化改良事業



氏家小学校

氏家小学校長寿命化改良工事の実施設計、押上小学校屋内運動場大規模改造工事の実施設計等。

4,441万円

桜の郷づくり事業



喜連川早乙女桜並木再整備事業、桜並木芝張工事等の実施。

2,016万6千円

デマンド交通事業

喜連川～氏家地区間移動の利便性向上のため、氏家地区の指定乗降所に「さくら市役所本庁舎」を追加。



3,443万2千円

令和8年度予算 大型事業

新年度予算の大型事業をご紹介します。

1. 子育て・教育

学校給食センター管理運営事業

市内小中学校給食費の無償化を実施。



さくら市学校給食センターキャラクター「さくらこ」



2億4,140万1千円

2. 福祉・健康

総合公園管理事業



ゲートボール場

総合公園ゲートボール場の人工芝設置工事を実施。

6,479万円

3. 産業・地域資源

プロサッカーによる地域の元気づくり推進事業



栃木SCの練習拠点グラウンド

企業版ふるさと納税等を財源とする栃木SCクラブハウス整備の支援と周辺環境の整備。

4億869万8千円

4. 環境・安全

農業用ため池防災減災対策事業



鹿子畑池(下)

防災重点ため池、向溜・鹿子畑池(下)・笹山溜池の防災工事を実施。

2億2,405万9千円

5. 都市基盤

氏家駅東地区魅力向上事業



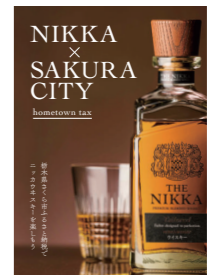
第1期整備計画区域の事業化に向けた業務委託。

3,755万円

6. 行政経営

ふるさとづくり寄附事業

財源確保に向けたふるさと納税返礼品の充実。



3億5,040万8千円



令和8年度予算に対する議会からの意見・要望



当初予算として過去2番目の規模となる予算が計上されました。義務的経費の増加に加え、物価高騰など、厳しい外的環境の中での予算編成という困難な状況にもかかわらず、「子育て・教育、健康、産業、環境、安全等」といった幅広い分野でバランスの取れた配分が行われている点を評価しました。また、それぞれの分野において議会は以下の事業に注目し、意見や要望を行いました。



1. 子育て・教育

給食費の無償化や第2子以降の放課後児童クラブ利用料の減免など、各ライフステージに合わせた切れ目のない総合的な支援に取り組むこと。



2. 福祉・健康

「健幸のまちづくり」を進め、健幸ポイント事業（saku歩）の対象年齢を16歳まで引き下げるほか、温泉施設に血圧計等を設置するなど、健康拠点の拡充を図ること。

3. 産業・地域資源

新規産業団地造成に向けた測量業務の実施、ECサイト（ネット販売）開設による販路拡大や環境に配慮した生分解性マルチ等の購入補助を新設し、農業生産者への支援策を拡充すること。産業基盤の整備と農業振興を両立させ、地域活力の向上を図ること。



4. 環境・安全

五行川の洪水浸水想定区域指定や新防災気象情報の運用開始に伴う防災ハザードマップの更新。また、防災情報システムにはダム放流時の水位予測機能を追加し、ため池3か所の改修や木造住宅耐震補助の拡充により、災害に強いまちづくりを推進すること。

5. 都市基盤

氏家駅東地区魅力向上整備計画の調査設計を推進。また、空き家バンクを利用した住宅のリフォーム支援を継続し、子育て世帯の中古住宅取得や改修への補助を拡充し、定住促進と良好な住環境整備を進めること。

6. 行政経営

引き続きふるさと納税の返礼品充実に努め、自主財源を確保すること。また、DX推進事業として行政手続きのデジタル化を強力に進めること。

